



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <https://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 針生 敦司 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	7,649	5.8	964	81.7	1,251	△19.5	980	△18.6
2019年3月期第1四半期	7,226	△3.7	530	△39.3	1,554	23.7	1,204	30.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 786百万円 (50.4%) 2019年3月期第1四半期 522百万円 (△42.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	17.38	—
2019年3月期第1四半期	21.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	79,488	73,089	91.9
2019年3月期	80,238	73,036	91.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 73,089百万円 2019年3月期 73,036百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,250	△0.5	400	△59.1	2,300	△19.6	2,000	△10.9	35.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(注)詳細は、『添付資料』P.7「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	56,814,093株	2019年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	410,205株	2019年3月期	410,176株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	56,403,902株	2019年3月期1Q	56,582,946株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2019年7月31日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年6月30日)の売上高は、医薬品事業が国内・海外ともに伸長したことから、前年同期と比べ5.8%増の76億4千9百万円となりました。

営業利益は、増収に加え、研究開発費を中心とした販売費及び一般管理費が減少したことから、81.7%増の9億6千4百万円となりました。経常利益は、投資有価証券売却益が減少したことなどにより、19.5%減の12億5千1百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は18.6%減の9億8千万円となりました。

セグメント別の売上概況

## &lt;医薬品事業&gt;

- ・国内医薬品(36億8千9百万円、前年同期比5.4%増)

関節機能改善剤アルツは、市場全体が縮小したことにより、医療機関納入本数は減少しましたが、当社売上高は前年同期の販売提携先による在庫調整の影響により出荷が少なかったことから、増加しました。

眼科手術補助剤オペガン類は、シエルガンが順調に推移したことから、医療機関納入本数及び市場シェアが伸び、当社売上高も増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、競合品参入の影響を受け、当社売上高は減少しました。

2018年8月より販売を開始した腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアは、販売提携先とともに適正使用及び安全性確保に向けた医療機関への情報提供活動を推進しつつ段階的な普及に努めており、市場浸透は着実に進展しています。なお、販売提携先への年間出荷計画により、当第1四半期の売上高はありませんでした。

- ・海外医薬品(19億5千6百万円、同8.4%増)

単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、販売提携先の拡販施策に加え、2019年より複数の民間保険会社で優先償還を獲得したことにより、現地販売本数及び当社売上高が増加しました。

5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、米国市場において単回投与や3回投与などの少数回投与製品が選好される傾向が高まっており、現地販売本数及び当社売上高が減少しました。

中国向けアルツは、販売提携先による販売員の増強や都市部及びその周辺地域への拡販戦略が奏功しており、現地販売本数及び当社売上高が増加しました。

- ・医薬品原体(2億9千万円、同14.4%増)

コンドロイチン硫酸が減少した一方、ヒアルロン酸が増加しました。

これらの結果、医薬品事業の売上高は59億3千6百万円(同6.8%増)となりました。

## &lt;LAL事業&gt;

海外子会社のアソシエーツ オブ ケープ コッド インクでの直販及び代理店経由の販売活動強化によりエンドトキシン測定用試薬やグルカン測定体外診断薬が順調に推移したことから、売上高は17億1千2百万円(同2.8%増)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において、営業利益が2019年5月10日に公表した通期の連結業績予想に達していますが、主に研究開発費を中心とした販売費及び一般管理費が第2四半期以降に集中することなどを踏まえ、同連結業績予想からの変更はありません。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,987	11,546
受取手形及び売掛金	8,308	8,303
有価証券	7,715	6,752
商品及び製品	3,599	3,165
仕掛品	2,360	2,356
原材料及び貯蔵品	1,595	1,849
その他	1,844	2,077
貸倒引当金	△21	△13
流動資産合計	34,390	36,038
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,120	23,129
減価償却累計額	△12,576	△12,760
建物及び構築物（純額）	10,543	10,368
機械装置及び運搬具	23,417	23,433
減価償却累計額	△18,037	△18,436
機械装置及び運搬具（純額）	5,379	4,997
土地	929	929
リース資産	141	136
減価償却累計額	△70	△71
リース資産（純額）	71	64
建設仮勘定	1,753	1,760
その他	5,922	5,934
減価償却累計額	△4,944	△5,028
その他（純額）	977	906
有形固定資産合計	19,656	19,026
無形固定資産		
その他	577	575
無形固定資産合計	577	575
投資その他の資産		
投資有価証券	24,114	22,341
退職給付に係る資産	127	139
その他	1,379	1,375
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	25,614	23,848
固定資産合計	45,848	43,450
資産合計	80,238	79,488

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	721	668
短期借入金	300	300
リース債務	33	32
未払金	3,136	2,420
未払法人税等	42	177
賞与引当金	620	310
その他	503	761
流動負債合計	5,357	4,670
固定負債		
リース債務	49	43
繰延税金負債	1,166	1,099
資産除去債務	39	39
その他	589	546
固定負債合計	1,844	1,728
負債合計	7,202	6,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	60,566	60,813
自己株式	△647	△647
株主資本合計	69,060	69,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,734	3,522
繰延ヘッジ損益	△3	12
為替換算調整勘定	183	181
退職給付に係る調整累計額	61	64
その他の包括利益累計額合計	3,975	3,781
純資産合計	73,036	73,089
負債純資産合計	80,238	79,488

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	7,226	7,649
売上原価	3,326	3,596
売上総利益	3,900	4,052
販売費及び一般管理費		
販売手数料	368	377
人件費	546	529
賞与引当金繰入額	84	90
退職給付費用	28	26
研究開発費	1,563	1,288
その他	777	776
販売費及び一般管理費合計	3,369	3,088
営業利益	530	964
営業外収益		
受取利息	17	36
受取配当金	163	171
投資有価証券売却益	732	191
受取ロイヤリティー	108	—
その他	16	22
営業外収益合計	1,038	421
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	6	122
その他	2	6
営業外費用合計	15	134
経常利益	1,554	1,251
税金等調整前四半期純利益	1,554	1,251
法人税、住民税及び事業税	336	253
法人税等調整額	12	17
法人税等合計	349	270
四半期純利益	1,204	980
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,204	980

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,204	980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△384	△212
繰延ヘッジ損益	—	16
為替換算調整勘定	△318	△1
退職給付に係る調整額	21	3
その他の包括利益合計	△681	△194
四半期包括利益	522	786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	522	786
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,560	1,666	7,226	—	7,226
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,560	1,666	7,226	—	7,226
セグメント利益	226	303	530	—	530

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,936	1,712	7,649	—	7,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,936	1,712	7,649	—	7,649
セグメント利益	610	353	964	—	964

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。